

新春和太鼓コンサート



～東京太鼓ギャザリング～

2022

1/16(日)

浅草公会堂

〒111-0032

12:30 開場 13:00 開演

東京都台東区浅草1-38-6

主催 公益財団法人 日本太鼓財団 日本太鼓財団 東京都支部

協賛 Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

後援 株式会社 宮本卯之助商店

ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団
理事長 大澤 和彦



本日は、「Tokyo Taiko Gathering」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

本事業は、太鼓の力強い響きによる新型コロナウイルス感染症の終息祈願に加え、以前のように活動することが困難な太鼓団体に対し、演奏機会の提供を目的に実施しており、東京都での開催は2回目となります。

本日出演する団体は、皆さまに演奏をご披露させていただけるこの機会を楽しみに、今日まで練習を重ねてきました。

ご来場の皆さまには、感染予防の観点から不便をおかけいたしますが、各団体の特色あふれる演奏を最後までごゆっくりお楽しみいただき、日本太鼓に対するご理解を深めていただければ幸いです。

結びに、開催にあたり格別のご支援をいただきました

日本財団ならびにポートレース関係者の方々、運営にご尽力いただきました関係する全ての皆さまに深く感謝申し上げます。



太鼓集団天邪鬼
渡辺 洋一

新年明けましておめでとうございます。

本日はご来場頂き誠に有り難うございます。

2022年の幕開けを、太鼓を愛し、また日本の誇れる文化として太鼓を応援して下さる皆様と迎えられることを心より嬉しく思います。

この2年間を振り返りますと新型コロナウイルスにより

日々の生活が一変し、文化・芸能の分野では音を出すことさえ遠慮をし、人々は心のオアシスを失いかけておりました。

太鼓界では、疲弊し存続さえ危ぶまれた団体もございます。

まさに我慢の2年ではありましたが、そんな中でもマスクをしながら稽古に励んだ太鼓の音を会場にいらっしゃる皆様に届け、気持ちを伝えられる喜びに本日は出演者全員が浸っております。

今回の構成演出は世代交代も視野に入れ、これからの時代のリーダーとなってゆく若い力に期待し青年部に委ねました。

至らない点多々あるとは思いますが、温かく見守って頂けたら幸いです。

本日の開催にご尽力頂きました皆様への感謝を忘れずに、東京都支部一丸となって心に響く和太鼓の音をお届けします。最後までごゆっくりお楽しみください。

第一部

1. 東京都支部青年部合同曲 「Taiko Gathering」

原曲:鷹-TAKA-「バウンド」
編曲:Tokyo Taiko Gathering実行委員会

2. 和太鼓大元組 「燦(きらめき)」



游神—YUUSHIN—

「神を遊ぶ。神は精神。心に同じ精神をほしいままにして楽しむ。
心を遊ばせる。」～出典 楚辞～

〔游 -YUU-〕

帆を立てて旅をするという意味もある。 帆を立てて旅をしながら、
その先々で人々を楽しませる…

そんな風にもとらえる事ができます。

東京スカイツリー建設で活気あふれる町。

東京は墨田区向島を拠点に活動しています。

和太鼓の基本を重点に置き、日々稽古に励んでいます。

「和太鼓 大元組」は、大田区の「大」と、この地域を「元」として
世界に羽ばたける人材を育成出来るよう2000年に結成されました。

国内外問わず、様々なステージにて「和太鼓」のジャンルに
とらわれることなく演奏活動を展開するプロ和太鼓チームです。
和太鼓の魅力を広く伝えようと、2003年に邦楽カルチャースクール
「studio邦楽アカデミー」を設立。

また、各種教育機関、他の和太鼓チームにも和太鼓指導者として
赴き、指導団体としても活動も広げております。

3. 向島游神太鼓 「北斎」



4. 中野打越太鼓 「響」



昭和60年（1985年）に、「氷川神社祭礼」に華を添えるべく
中野サンモール商店街祭礼研究会7名によって発足し、
打越町会等の協力を得て打越太鼓として活動を始めました。

活動内容は、秋の氷川神社祭礼を始め、中野まつり・
中野チャンプルーフェスタ・成人祝賀餅つき大会・地元町会・
商店街等のイベントや行事等々に出演しており、
平成29年にはNAKANOブランド2017にも選出されました。
今後も、町会・商店街・中野区及び日本太鼓財団東京都支部の
発展のため、活動していきたいと思っております。

5. 岩淵組 「勇み駒」 「結(むすび)」

私は聴覚障がい者です。東京都出身で3歳の時、高熱により聴力を失いました。

2009年、聴覚障がい者の太鼓公演を初めて観て感銘を受け、

自分も太鼓をやりたいと思い翌年聴覚障がい者の太鼓団体に入会いたしました。

自分の可能性にチャレンジし、技術を極めるために太鼓教室等でスキル向上に取り組んでいます。

私にとっては、太鼓はかけがえのないものであり、生きがいを感じています。

太鼓の音を身体と心で深く感じ取って楽しみながら頑張りますので、

応援よろしくお願いします。



6. 源流芝六太鼓

「YAGURA～あらた～エイサーシー」



埼玉県越谷市で約40年活動する
武州粋鼓会（すいこかい）です！

「和太鼓の持つ響き迫力を将来に継承し、武蔵野の文化の繁栄を祈り
その河川などの豊富な水の守護神（竜神）の様な
激しい迫力のある太鼓を打ちたい」という思いの太鼓好きが集まり
太鼓の粋を集めた組太鼓を打つ武州粋鼓会が発足。

現在は、地域のお祭りやイベントで演奏。
活動や練習の様子はインスタグラム(bushu. suiko)や
ブログ(「粋鼓Style」で検索)でも発信中！



源流芝太鼓連は昭和56年に
氏田尚克氏により結成。

港区芝を拠点として地域の盆太鼓、
祭りの組太鼓演奏を現在は
氏田氏からはたのよしみが引き継ぎ、
変わらず活動を続けている。

国際色豊かな港区の団体らしく、
最近では外国人メンバーも活躍。

伝統的なスタイルを大切にしながらも、
RE芝太鼓連として、シンプルな構成の中での
可能性を追求している。

盆踊りの盛り上げやマラソン応援など地域愛で活動中。

7. 武州粋鼓会 「飛竜太鼓」



8. 葛飾諏訪太鼓 ～司会者による紹介～



太鼓の町、府中に郷土芸能として昭和57年に
武蔵国府太鼓が創作されました。

曲想は府中市の歴史・風土・自然を題材として、
小・中・大の異なった太鼓のリズムを組み合わせた
アンサンブルで曲を構成しています。

「響会」は昭和58年に結成され、

武蔵国府太鼓の伝承と普及を目的に演奏活動を行っている
市民団体です。これまでに国民文化祭に2回、

ハワイ公演、長野オリンピック、東京国体開会式に

和太鼓としては唯一の演奏を行いました。伝承活動に於いては、
毎週金曜日に市民講習会や各学校の和太鼓クラブの指導を行っています。

9. 武蔵国府太鼓「響会」

～司会者による紹介～



2006年に水心会加盟団体の役職員を中心として
発足した和太鼓クラブです。

水心会とはポートルースの売上を財源に社会貢献活動を行っている
日本財団および関連団体のグループ名称です。

水心会メンバーである日本太鼓財団にご協力いただき、
メンバーによる基礎練習を行っています。

また、月に一度、和太鼓大元組の湯澤先生にご指導いただいています。
港区虎ノ門の琴平町夏祭り、邦楽アカデミー発表会などでの
発表を目指して練習をしています。

10. 和太鼓水心会

～司会者によるインタビュー～



11. 大江戸助六太鼓 ～宗家 小林正道スピーチ～



小林正道が1982年に創設。
神田を拠点に40余の国で公演。
助六太鼓時代に作った楽曲に加え、50を超えるメンバー作オリジナル楽曲で観客を魅了する。神田の稽古場には10～80代の幅広い門下生が通い、これまで1000名以上を輩出。
国内外チームの指導も行う。
キレのある音とダイナミックな振り、メロディアスな音とタイトなアンサンブル人と楽器含めた舞台全体の様式美、メロディー楽器を入れずに音楽を聴かせること、などにこだわりを持つ。

12. 太鼓打ち小林太郎 『巻』



浅草を拠点に世界で活躍する和太鼓ソロ奏者。
和太鼓ひとつ打ちから多彩な奏法で、クラシック、邦楽、ジャズ、民族音楽、バレエ、フラメンコ、ヒップホップ、書道、絵、自然など異色なコラボをする。また日本を深く知るために北海道宗谷岬から鹿児島まで修行の旅をし、ソロ奏者としての可能性を追求している。
現在宮崎に第二の拠点を作り日本神話や神楽を学びつつ演奏活動をしている。
振付師としてCM、TV番組、舞台、アイドルの和太鼓演出を担当。映画音楽や舞台音楽の録音など幅広く活動している。



13. 一般社団法人 詩伍座 『未来の宝』

2021年12月 杉林 強が代表理事に就任し、一般社団法人詩伍座を立ち上げました。
杉林が幼少の頃から叩いてきた和太鼓を通じて、祭りや結婚式などの余興だけではなく、青少年の育成や地域社会への貢献を目指し、時代に左右されない古き良き日本の心を若い世代にも本気で伝えていく和太鼓集団です。
本日演奏する曲は「未来の宝（みらいのたから）」です。子供たちの可能性を表現した曲です。
心から本気で演奏致します。宜しくお願い致します。

14. 太鼓集団天邪鬼 『武人』



太鼓集団天邪鬼は、東京を拠点にプロの和太鼓集団として活動を続けています。
1986年12月の結成以来、ひとすじに『日本の音』を追い求めて伝統と創造の狭間で挑戦を続けてきました。
太鼓の音と響きが心に共鳴し、勇気や活力が湧くように、東京都支部の皆さんと共に和太鼓文化発展の一石になれることを願っています。
本日は一曲一打にたくさんの想いと情熱を込めて天邪鬼の魂をお届けします。

第二部

15. GOCCO

『Oto no Hashira』

『Rai-zing』



バンド結成から25年。変わらぬメンバーで共に時を重ね、生み育ててきた唯一無二のグルーブと音楽性で、世界各地、様々なジャンルの音楽フェスティバルに招聘され、40カ国を巡ってきた、旅する和太鼓バンド。

JUNO REACTORとコラボし、映画『MATRIX Reloaded』『MATRIX Revolutions』のサウンドトラックに参加。2009年Newsweek誌『世界が尊敬する日本人100』。またTAWOO太鼓道場を中心に、国内外でそのスピリットを伝え続けているリーダーKAOLYが出演する映画『HERbeat』が来年公開予定。



16. 太鼓笑人めでたい 『凜』

和太鼓、鳴り物、三味線、唄、踊りなどを織り交ぜた壮大な演奏スタイルが特徴。伝統的な楽曲だけでなく、独想的な感性によって創りあげたオリジナル曲などを多数有し2012年より”狐狂伝来(こきょうでんらい)”と題したストーリー性のある舞台を自主開催し、反響を得ている。国内外で500回を超える上演で太鼓界より注目を浴びている。

17. 梵天 『縛日羅 BAZARA』

梵天は、1994年に中野でスタートし現在は渋谷区にあります未来太鼓道場出身者で結成し2000年に公演活動を開始したチームです。舞台では太鼓6名と篠笛・尺八・三味線ピアノがレギュラーメンバーで活動しており、国内外で公演活動と指導を行っております。これまでに5枚のアルバムを発売しオリジナル曲は50曲以上。欧州・北米・アジアなど海外チームへ楽曲提供多数。



18. 和太鼓会和光太鼓 『音魂(おとだま)』

和太鼓会和光太鼓は“異体同心”のごとく打ち手同士が呼吸を合わせて一打一打に心を込める“粋な佇さばき”を継承したく活動しております。静と動を巧みに活かした演奏は各方面から高い評価を得ており時代の流れに捉われず和太鼓本来の音色を打ち鳴らし律動を重ね音楽の三要素を目指し“心で打つ”を信条に本物の“太鼓道”を守り歩んでおります。

19.和太鼓鼓一 『天龍』 『里山神楽』



八王子市を拠点とし2008年結成。常に一打一打にこだわり、和太鼓のもつ魅力を最大限に活かすことを追及し、弾ける・跳ねる・躍動する演奏演出を行っております。現在、和太鼓の大会やコンテスト、各地域のイベント・お祭りなどに多数出演。

2019年 全国七人制和太鼓選手権大会 組太鼓一般の部【優勝】
2021年 太鼓祭 東日本・北日本大会 組太鼓一般の部【準優勝】
2021年 太鼓祭 東日本・北日本大会 組太鼓ジュニアの部【第3位】



20.和太鼓邪無音 『ぶち合わせ太鼓』

創立15年目の大田区のチームです。
現在、発足当時小学生であった中核3人が社会人、大学生になり小学生主力の当会ジュニア六郷河恩太鼓を指導してきました。
コロナ禍で活動休止に追い込まれ再開は昨年11月でしたが、本日の舞台に夢膨らませ猛特訓の日々でした。
三宅、八丈など東京近郊の「海や波」がテーマの「伝統」曲やアレンジ曲を演奏してきましたが、今回はお隣神奈川県三浦半島がルーツの小学生向け大漁祝い曲「ぶち合わせ太鼓」に挑みます。

21.荏原流れ太鼓ひびき會 『黎明』

荏原流れ太鼓ひびき會は昭和53年4月太鼓文化を郷土の芸能として後世に残しまた太鼓を通じた青少年の健全育成を目的として設立されました。

荏原流れ太鼓の名称の由来は西暦645年大化の改新の国・郡里制における武蔵ノ国荏原郡の地名から荏原を、そして地域に古くから大いなる恵みをもたらした今もなお流れる多摩川から流れと命名しました。
現在、大人から子どもまで幅広い年齢層の会員約30名が大田区を中心に活動しております。



22. 鳴神琉雷神太鼓 『春嵐』



鳴神流 雷神太鼓と申します。正式の名は太鼓塾 雷神という和太鼓の塾を平成4年に設立し、東京八王子で技術指導を行いながら地元はもちろん関東近郊のお祭りイベント等で演奏活動を行っています。コロナ禍でなかなか演奏活動が出来ずにいますが、我々の演奏で皆さんに元気と勇気を与えられる様これからも頑張ってお参ります！何卒よろしくお願い致します!!

23. 関東やまと太鼓

『江戸囃子』 『晴色』

昭和48年、夏、盆踊りの太鼓を愛する5人の若者により「葛飾やまと太鼓」として発足。活動範囲が広まるにつれ「関東やまと太鼓」と改名。20ヶ所を数える槽での盆太鼓を中心に、創作太鼓をはじめ、津軽三味線、篠笛、お囃子、獅子舞などを学びながら地域社会の貢献や青少年の健全な育成を、和太鼓を通じて行っています。



24. 和太鼓 暁 『火の鳥』



2013年結成。
「進化する和太鼓」をコンセプトに男性の力強さと女性のしなやかさを併せ持つ男女混合の和太鼓チーム。
全国各地の和太鼓コンテストにて、三度の日本一と文部科学大臣賞受賞。また大太鼓個人一人打ちコンテストにおいても過去に男女合わせて六度の日本一と文部科学大臣賞を獲得。日本一の大太鼓演奏に加え女性の力強い打ち込みにも定評があり、大太鼓を主体とした演目を軸に様々なレパートリーでバラエティに富んだ演奏を表現する。

25. 八丈太鼓六人会 『八丈太鼓』



八丈太鼓としては、
全日本太鼓連盟結成時に加入し
島内外で活動してきたが、出演依頼等が多くなり
島外で出演できるグループを結成してはと！
八丈太鼓六人会は、1981年（昭和56年）
太鼓好きの青年たちによって結成されました。
結成当時メンバーが6名だったので
六人会の名称となる。
現在メンバーは12名で、国内外を問わず
広く演奏活動に参加しています。
2022年7月17日（日）に結成41周年
記念公演を行う予定です。

26. 助六太鼓保存会 『祭り太鼓』 『助六太鼓四段打ち』



日本三大太鼓の一つといわれる助六太鼓は、
1968年東京の文京区で日本初の和太鼓プロ集団として発足しました。
江戸から伝わる歌舞伎、長唄などを研鑽し、東京の盆太鼓スタイルであった
斜め台による打法を初めて創作和太鼓に取り入れ構成されました。
江戸の祭り情緒を思わせる粋で勇壮な楽曲、踊るように打ちこむ打芸は「助六流」という
独自の演奏形態を築きあげました。家元今泉豊の全身を使った打法、
和太鼓本来の音にこだわる姿勢は多層の人々に認められ、
国内外で音楽活動を展開し続けています。

27. 東京都支部合同チーム 『禪』

作曲：渡辺洋一

高鳴る鼓動に

奮い立つ本能の記憶



この国の佳き伝統とともに

宮本卯之助

株式会社 宮本卯之助商店

創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売

〒111-0035 東京都台東区西浅草 2-1-1

TEL 03-3844-2141 FAX 03-3842-6730

www.miyamoto-unosuke.co.jp